

書塾の仲間たち

第 270 回

ひかり書道教室（神奈川県横浜市）



●書塾からひとこと●

当教室は、当初、小さなレンタルスペースで始まり、2018年に現在の場所に移転。今年で発足して10年目を迎えました。

現在は、小・中学生を中心に、約40名の生徒さんが学んでおり、今年度から、大人向けのペン字レッスンもスタートしました。定期的に通うことが難しい方向けにも、チケット制での受講や、長期休み中の単発のレッスンなど、工夫して開催しています。

教室では、毎月「書写書道」誌の課題練習に励みながら、年に2回コンクールにも参加しています。1クラス6名までの少人数クラスとし、「質問を交えながら添削すること」を大切にして、文字を学びながら「自ら考える力」を育てていきたいと考えています。

普段のお稽古では、まずお手本をしっかり観察し、正しく美しい文字を書くことの大切さを学びます。夏と冬に行っているうちわ制作やカレンダー制作といったイベントでは、自由な発想で表現する楽しさを感じることができます。

近年はAI（人工知能）などのデジタル技術が発達するなど、日常生活での手書きの機会が一段と減りました。効率化やスピード感が求められる時代ではありますが、じっくりと自分の字に向き合う時間は、心を落ち着かせ、集中力や見る力・考える力を育むと考えます。

これまでの指導の中で、子どもたちは驚くような成長や変化を見せてくれました。指導者として、生徒の可能性を信じ、粘り強く見守ることの大切さを教わったと感じています。これからも「字を綺麗に書きたい」「書道を学びたい」という意欲ある子どもたちや、「我が子に綺麗な字を書けるようになってほしい」と願う親御さんの思いに応えられるよう、自身も研鑽を積みながら、末長く教室を続けてまいりたいと思います。

ひかり書道教室 佐藤 光綾
※書塾に連絡したい方は事務局へお問い合わせください。

情熱

五年 中村美瑚



生まれて初めてのプレゼント

広島県熊野町立熊野第一小学校五年 中村 美瑚

私は、自分だけではなくみんなが読めるきれいな字が書けるようになりたくて、お母さんをお願いして書道を習い始めました。

最初は思うように書けなくて、くやしくてたくさん泣いていました。けれど、いつの間にか学校の書道の授業のとき、先生や友達にほめられるようになりました。書くたびにだんだん上手になっていくのが分かり、書道が楽しくなりました。

私は書道をする前に「やる気スイッチ」をおしています。そうすると、やる気が出て集中できるようになるからです。毛筆は、はね、はらいの部分や字のバランスを取るのが難しくて、やる気スイッチが切れてしまうときがあります。けれど、先生が「美瑚ちゃんなら書けるよ」といつもはげましてくれるので、気持ちを切りかえてまたスイッチが入ります。そして、スイッチを学校の書道の授業のときもおすようにしています。

昨年、学校で書いた「左右」という字は全国書画展で「熊野町教育委員会賞」を受賞しました。お母さんとお父さんが「やる気スイッチを自分でおせるようになって良かったね。がんばったね」とたくさんほめてくれました。

私は、お母さんとお父さんに生まれて一番最初にプレゼントしてもらった「名前」を、いつでもきれいに書けるようになることを目標の一つにしています。もっとたくさん練習して、自分の名前を書くことに、今より自信と誇りを持てるようになります。

ときどきは涙が出たり、やる気スイッチが切れてしまうこともあると思うけれど、いつも支えてくれる人たちへの感謝の気持ちを忘れず、先生や家族の言葉はげみにして、これからも楽しく書道を続けていきたいです。

私と書写書道 第270回

体験

中一 吉川咲希



「書は心なり」、字も心も磨きたい

静岡県裾野市立西中学校一年 吉川 咲希

私が書道を習い始めたきっかけは、母に勧められたからです。習い始めの頃はとても緊張して、上手に書けず悔しい思いをしました。しかし、書道教室ではお楽しみ会やクリスマス会などのイベントがたくさんあり、楽しみながら続けることができています。上手に書けたときにはとても嬉しくなるし、墨のにおいも好きです。また弟と一緒に通うことが自分にとっても励みになっています。

書道を習っていて面白いと感じるのは、文字には自分の気持ちが表れることです。母にもよく「気持ちに字が出ています」と言われます。確かに、やりたくない宿題のときは少し雑になってしまい、新しいノートやお気に入りのメモ帳に書くときには、とても丁寧に書いています。書道を習っている一人として、気持ちを左右されずに、いつでも丁寧にきれいな字を書けるようになりたいです。

「書は心なり」「文字には書いた人の心や人柄が表れる」という意味の格言があると知りました。母はそれを知っていて、私の字に気持ちが表れているからこそ、書道教室を勧めてくれたのだと思います。

書道教室には毎年作品展もあります。作品展では、墨で書くだけでなく、いろいろな方法で文字を表現するのが楽しいです。他の人の作品を見ると、とても勉強になります。私は、作品展の中で、多くの人の作品を見ること、とても勉強になります。私は、作品展の中で、多くの人の作品を見ること、とても勉強になります。私は、作品展の中で、多くの人の作品を見ること、とても勉強になります。

「夢」という字を書いたことがありました。とても緊張しましたが、半切二分の一(35cm×68cm)サイズの大きな紙に書いて書くことができて良かったです。そのときの作品を今も家に飾っています。とても良い経験になったので、また機会があればぜひ挑戦したいと思っています。

まだまだ道のりは長いですが、書道教室での稽古を楽しみながら、上手に書けたときの嬉しさや、上手に書けないときの悔しさもまっすぐ受け止めて、大切にして、もっと字も心も磨きたいと思っています。